

——ずっと市民目線で 皆さんの血税を守ります!!

### 上原みなみの市政報告



Communicate with...

KOBE UNESCO City of Design

幸福UP



# みなみかぜ便り

新世代こうべ 2014年3月31日発行

〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 市役所1号館26F ●TEL 078-322-6361 ●FAX 078-322-6128 ●携帯 080-6150-0373

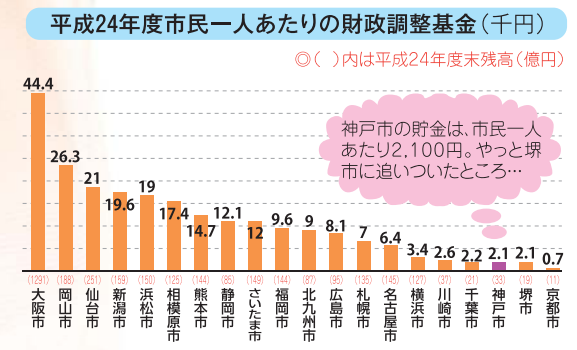
## 「神戸に住みたい」と言われる市民サービス水準へ!



**皆**さん、こんにちは。私は、昨年末にみんなの党を離党し、無所属議員となりました。政局争いではなく、政策実現に全力を注ぎ、皆さんの役に立ちたいとの想いを全うしたいからです。気持ちも新たに、市政改革に取り組んで参ります。どうか変わらぬご支援をよろしくお願い致します。

さて、百花繚乱の季節幕開けは、神戸市でも平成26年度予算が承認され、新たな取り組みが始まる季節です。土地売却(10億円)の財源対策により実質収支の黒字を確保できたものの、市の貯金と言える財政調整基金(市民一人当たり2,100円・平成24年)は、20政令指定都市中ワースト3に入る現状です。

費用対効果や目的が明確な予算であるかを見極め、市民のための市政となるようチェックを続けます。



### 上原みなみ

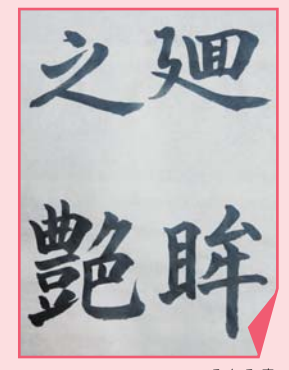
- ◎神戸市会議員
- ◎産業港湾常任委員会
- ◎NPO法人「北区に住んでいるって大声で言い隊」理事長
- ◎気象予報士・環境再生医・書道師範

#### プロフィール

1969年3月16日神戸市兵庫区生まれ、北区在住。夢野小、夢野中、鈴蘭台高、神戸大学卒。サンテレビでのお天気キャスター、夕刊フジでの連載コラム執筆、J:COMキャスターを経て、2011年統一地方選挙で6033票いただき、神戸市会議員(北区)となる。趣味は書道、ケーキ作り。

#### 今回の書

かいほう えん 「廻眸の艶」  
人の瞳を引き付ける艶やかなさ



みなみ書

プログラムのチェック!  
上原みなみ 検索

## 敬老優待乗車制度の神戸電鉄・北神急行への拡大

上原 敬老優待乗車制度(通称…敬老バス)は、高齢者の移動を支援し、社会参加を促進する目的で、現在、市内在住の満70歳以上の高齢者が対象交通機関をほぼ半額で利用することが出来る制度となっています。しかし、対象交通機関は、鉄道では市営地下鉄、ポートライナー、六甲ライナー、バスは、神戸市バスをはじめ民間バスにも適用されているものの、JRや阪急電車、阪神電車、山陽電鉄、神戸電鉄や北神急行、そして一部の民間バスでは利用できない制度です。実際に、行政区別の利用実績を見てみますと、ひと月当たりの平均

が外出された場合、往復5000円の割引サービスが受けられますから、ひと月当たり15,000円の市民サービスが受けられるのに対し、対象交通機関が一つも利用できない地域にお住いの高齢者はサービス0円、年間18万円の市民サービス

例えばこれを一定の補助額としてチャージしたICカードを交付するサービスに制度の手法を変更すれば、全ての交通機関で敬老優待乗車制度が利用出来ることとなり、「高齢者の移動支援、社会参加の促進」という本来の目的に近いあ

均利用が東灘区では一人6.6回、北区は8回なのに対し、北須磨支所では15.6回の利用があり、平均値でも住む場所によって2倍かそれ以上の格差のある市民サービスとなっています(表1)。例えば北須磨支所エリアの高齢者が毎日市バスと地下鉄を名谷から三宮まで乗り継

格差が出ることとなります。そこで提案させて頂きます。神戸市の敬老乗車制度予算は35億円、これを平成25年3月現在の対象者数(271,385人)で割りますと、一人当たり年間約13,000円となります。

表1 敬老優待乗車証の平均利用回数(人・月)

行政区	平均利用回数
東灘	6.6
灘	8.6
中央	9.0
兵庫	8.8
長田	9.2
須磨	9.2
北須磨	15.6
垂水	11.1
西	10.2
北	8.0
計	9.6

◎平成24年10月～平成25年9月

**上原指摘** ICカードは利用実績が追跡できるので、市内での利用を呼びかけるなどしてご検討下さい。

り方に、より多くの高齢者を対象に近づくことが出来ると思います。が如何でしょうか?(姫路市では今年度からICOCAカードへのチャージ方式に変更)  
**久元市長** 具体的なご提案ですが、ICカードは何処でも使える。大阪でも、昨年からは東京でも使える。敬老優待乗車制度は地域レベルでの住民の皆さんの足の確保するの目的なので、それから外れる恐れがある気がする。提言として受け止めたい。



都市計画総局

(平成26年3月3日)

ビューポイントに  
カメラ台設置を

**上原** 「神戸らしい眺望景観50選10選」の選定が行われ、公募で選ばれた「針の穴」を模ったビューポイントサインが設置されています。(写真1)

しかし、私は観光地を訪れるたび、腕を伸ばして自分撮りをしていく観光客の姿を見て、残念に思

うのです。写真を撮るということは、その景観を鮮明に残すことで、神戸の魅力長く観光客の心に留めることが出来ますし、その写真を他の人に見せることで、神戸を訪れた事がない人へも、神戸の魅力伝えることができ、新たな観光客誘致に繋がります。そこで、ビューポイントでセルフポートレート撮影が出来るように、カメラ台を設置すべきと考えますが、如何でしょうか？

**都市計画総局** 積極的な情報発信が必要で観光客の写真をいろんな所で使って欲しいので写真台は

良いアイデアだと思うが、コンペで選ばれたサインがあるのでそれを使っていきたい。コンペ以外のサインがビューポイントに色々あるのはどうかと思う。ビューポイントが何処にあるかを示すのが大切であるので今のところ写真台整備は考えていない。

**上原指摘**  
「コンペで選んだから」というのではなく、「市民にどう役立つのか」という視点でお答えいただきたいかったです。



産業振興局

(平成26年2月28日)

空港島利用による  
コンベンション規模の拡大

**上原** 世界のメッセ(見本市)の規模を見ますと、数十万平方メートル規模なのに対して、神戸市は予算3,000万円を計上して検討されるコンベンションセンターの再整備が実現しても、1万5千平方メートルと、何十分の1の規模でしかありません。そこで、空港島の売れ残っている売却予定地の利用も含めて、国際的にコンベンション都市と言うにふさわしい規模へ拡大を検討されては如何でしょうか？

**産業振興局** 神戸の国際会議場のメリットは、雨に濡れずに行けるところ。それが空港島となると、ホテルもなく高さ規制もあり課

題の整備が必要である。また、規模についてはパシフィコ横浜を目指しており、1万5千〜2万平方メートルが一番使い勝手が良いと考えている。会議場、ホテル、交通機関がコンパクトにあるのが神戸の売りだと思っている。

滞在型観光客  
誘致について

**上原** 神戸市の観光入込客数は、平成24年度で約3,282万人対前年度比106%・目標が3,500万人)だが、宿泊客は、平成24

年445万人と、日帰り観光客の3分の1弱、大手ホテルの稼働率も76%に留まっております。そこで滞在型観光にもっと本気で力を入れるべきだと考えますが、その具体的な取り組みについてお聞きします。

**産業振興局** 現在も、F&E KOBEという神戸公式観光サイトで、神戸観光のモデルコースを提案したり、エリア別の楽しみ方を特集を組んで紹介したりもしている。また、今年度からは「大人旅こうべ」を充実させようとしていて、予約率は90%である。

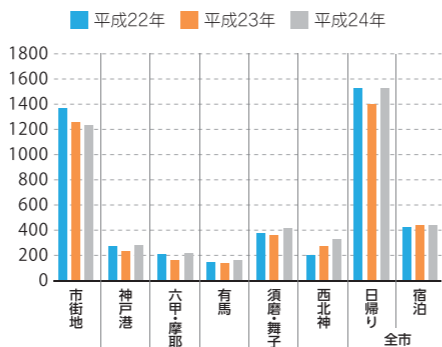
**上原** 関空↓大阪↓京都↓富士山↓東京という日本観光のゴールデンルートを通る外国人観光客をどう神戸に取り込むかが重要ですが、何か具体的なアイデアはありますか？

**産業振興局** リピーターとして二

度目に日本に来られる方については、是非神戸に来ていただくような仕掛けを進めています。

**上原指摘** 二度目の訪日に選んでもらう神戸ではダメ！同じ国に一生で2度旅行できる人は多くない。ゴールデンルートに入れてもらえる神戸にするべきです。

観光入込数の推移(単位:万人)



今年度予算のポイント  
《子育て》

乳幼児等・こども医療費負担軽減施策の拡充

無償化…現行2歳まで無料 ▶ 変更なし

通院の自己負担額…

3歳〜小3 / 外来1日800円

小4〜中3 / 2割負担

▶ 500円(+4.5億円・総額38億円)

妊婦健診の助成拡充

…88,000円 ▶ 98,000円(+1.9億円・総額12億円)

保育所待機児童の解消

…保育枠1400人分の拡大(+38億円)

学童保育の開設時間延長

…18時 ▶ 19時(+953万円)

こどもの医療費については中学校卒業まで無料化を目指し、今年度はその最初のステップだそうです。

保育所待機児童解消策については、少子化が進む中、私自身は保育枠を増やす予算を拡大するより、家計を助けようとパートに出るため望まない家庭外保育を選択せざるを得ないお母さんに、家庭内保育に対する助成金を支給し、家庭内保育の選択肢を提供する方が良いのではないかと考えています。

児童一人当たりの保育所運営費(1か月分)は、0歳児で20.6万円、1〜2歳児で12.1万円、3歳児で5.8万円、4〜5歳児で4.9万円と平均で9.1万円掛かります。これを神戸市と国と保護者が負担しますが、運営費総額に占める保護者負担は23.5%(神戸市:58.3%、国:18.2%)で、単純に運営費(平均9.1万円)に占める平均保護者負担を計算しても2.1万円となり、7万円が公費で賄われています。

例えば、家庭内保育支援金というものを5万円支給したら、保育所入所を選ぶ保護者が減るのではないのでしょうか?待機児童問題が解決するだけでなく、歳出削減も出来、それに伴い他の施策充実も図れます。何よりも、お子さんと少しでも長く一緒に過ごしたいお母さんの希望を、叶えることが出来ます。